市民の声・江東

六価クロムの安全な処理を！
江東区に公立の夜間中学を！

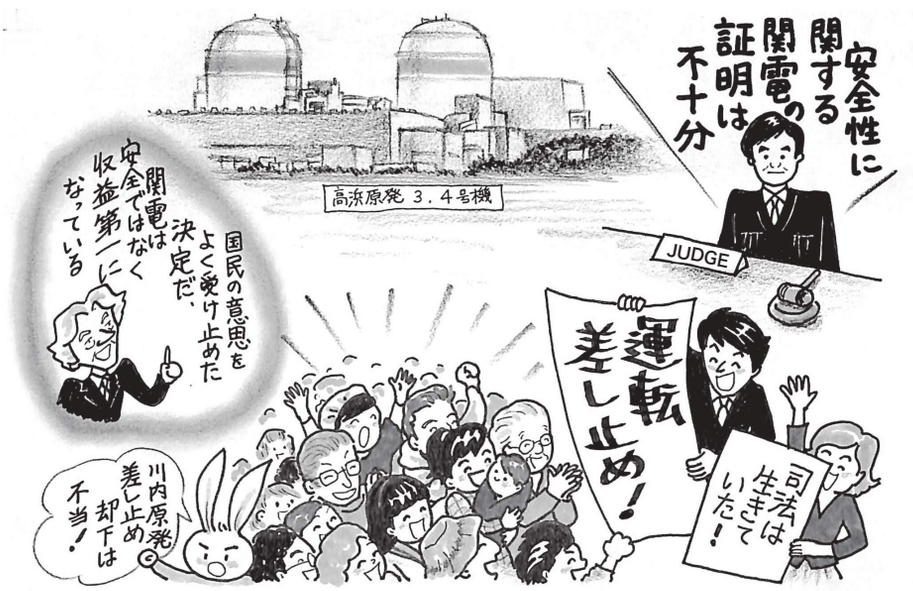
No. 80

中村まさ子の区議会レポート

2016年4月16日発行

編集・発行　市民の声・江東　江東区大島8-13-1　TEL 03-3636-1031　fax03-3636-1033　印刷：山猫印刷所

e-mail:usausa@js5.so-net.ne.jp　HP:http://www.asahi-net.or.jp/~jv6m-nkmr　ブログ：http://ameblo.jp/marousa51/

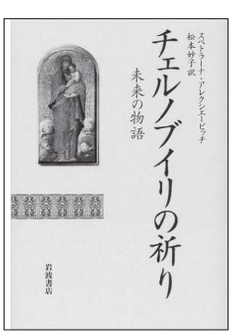


イラスト／*yukiko A*

福島とチェルノブイリ

福島原発事故から5年。事故はまだ収束していません。原子力緊急事態宣言は解除されておらず、原発事故の国際的な尺度で最高のレベル7「放射性物質の重大な外部放出が起こっている状態」が継続しています。

江東区内には約900人の「原発避難者特例法に基づく指定市町村」からの避難者がいます。家や仕事を失い、家族が分断された暮らしが5年間続いています。しかし国は昨年、避難指示区域指定の解除、区域外避難者（いわゆる自主避難者）の住宅支援の打ち切り、損害賠償の打ち切りの方針を決めました。これは、「支援対象地域からの避難、居住、帰還といった選択を、被災者が自らの意思によって行うことができるよう、国が責任をもって支援しなければならない」とした「子ども被災者支援法」の理念に反する決定です。



なかでも住宅は生活の基盤であり、切り捨てるような国の対応は厳しく批判されるべきです。

一方、今年はチェルノブイリ原発事故から30年目です。30年前、私は妊娠中で病を得て入院中でした。そのベッドの上でチェルノブイリ事故のニュースを聞き、その数日後千葉県でセシウムが検出されたという情報にショックを受けました。核に汚染されたこの世界で子どもを産むことの不安でした。

その25年後に福島原発事故が起き、あの時の不安や恐怖をありありと思い出しました。昨年のノーベル文学賞を受賞したスベトラーナ・アレクシエービッチさんの『チェルノブイリの祈り』という本を読みました。本自体は日本では1998年に出版されています。チェルノブイリ原発事故に遭遇した人々の行動、衝撃、愛、無念さ、悲しみなどを丁寧に聞き取り、描いたドキュメンタリー文学です。優れた文学は私たちに思いを共有させる力があります。胸が詰まりました。そして、そこに描かれていた市民の悲劇や政府の対応は何と福島原発事故がもたらしたものと似ていたことでしょう。

3月9日に大津地方裁判所は「高浜原発3、4号機」の運転禁止の仮処分決定をだしました。当然の判断です。核の被害を何度も経験した日本は原発（核）廃絶に向けて進むしかないと思います。

【予告】 佐藤和良さん講演会

福島県いわき市で反原発活動を続けてきた佐藤和良さん（前いわき市議）の講演会を開催します。東電幹部の強制起訴や原発の汚染水問題など中心になって活動してきたお話をうかがいます。

●5月20日（金）18時30分から
●亀戸文化センター（カメリア）五階第1研修室〈亀戸駅徒歩2分〉

2016年区議会 第1回定例会開催

（2月24日～3月30日）

新年度の予算は以下のとおりです（1億円未満は切捨て、カッコ内は昨年度当初予算）。

●一般会計	1886億円（1767億円）
●国民健康保険会計	622億円（633億円）
●介護保険会計	303億円（300億円）
●後期高齢者医療会計	84億円（81億円）

一般会計は前年度比6・7％の伸びで過去最大になりました。

【補正予算委員会】

＊被災者支援について

中村　**江東区には約1000人の避難者が生活しているが、国は2017年3月末で自主避難者の無償の住宅支援を打ち切る。福島県に帰還しない避難者への住宅支援をどう考えているか。**

区　住居の確保は自立生活の再建にとって一番重要。現時点では福島県から東京都への要請は来ていないので、国・都の動向を見守る。

＊居住支援協議会について

中村　**居住支援協議会では、現在高齢者だけが対象になっているが、根拠法である「住宅セーフティネット法」では子育て世帯、障がい者、被災者も住宅確保要配慮者となっている。対象者の拡充を考えているか。また、生活困窮者自立制度との連携をとることも検討すべきでは。**

区　対象者の拡充はこれから調査・研究する。自立支援制度との関係は今後考慮すべき点と思う。

【予算委員会】

＊六価クロムの漏出

中村　**今年1月、東大島駅前の「わんさか広場」北西入り口に六価クロムが漏れ出したのを見つけ、東京都に連絡をした。これまでもたびたび漏出があった場所だ。今回は高圧洗浄機で洗い流し、還元剤を撒くという対応がとられた。**

これまで都の対応はいずれの場合も、

●健康被害のおそれはない

●江東区、周辺住民に知らせる必要はない

というもの。しかし、漏出の原因を究明しないまま、漏れ出た六価クロムを洗い流すだけでは対症療法にすぎず、住民の不安はぬぐえない。

山崎区長も記者会見で「正しい情報を早くオープンにすべきだ」と都に注文をつけた。周辺の汚染状況を毎月調査している東京農工大学の渡辺教授は「六価クロムを含む地下水が住民が通る場所でこれほど広範囲でしみだすのは異常事態だ。30年以上前からの都の無害化処理は効力がなくなっているのではないか」と指摘している。

江東区は徹底的な原因究明と対策を都に求めて欲しい。

区　都は1日2回公園を点検し、六価クロムのしみだしが疑われた場合、現場の洗浄と還元剤の散布を実施し、また必要に応じて地下の排水施設の修理も行う。区は週に1回現地に行き、異常があれば都に連絡し対策を要請する。また正確な情報を周辺住民に迅速に提供するよう強く申し入れる。

〈中村補足〉2月以後も少量の六価クロムの反応が見られます。4月初め、現地の石垣の下がコンクリートで

亀戸駅北口での街頭宣伝行動中

中村まさ子の収支報告（2016年1月～3月）

★費用弁償は見直しを求めています。現在、別枠で積み立てています。

		1月	2月	3月	期末手当
収入	議員報酬	608,000	608,000	608,000	220,400
	費用弁償	0	9,000	27,000	—
支出	所得税	35,820	35,820	35,820	40,505
	住民税	56,000	56,000	56,000	—
	国民健康保険料	81,890	81,890	81,890	—
	共友会	2,000	2,000	2,000	—
	生活費、活動費	300,000	300,000	300,000	—
	退職積立金	60,000	60,000	60,000	—
	活動積立金	30,000	30,000	30,000	—
	共に歩む会へ	42,290	42,290	42,290	179,895

◆主な議案への対応

件名	自	公	維民クラ	共産	市民	ネット	他無所属4名*
予算案（一般会計、国保、介護保険、後期高齢者医療）*1	○	○	○	×	×	○	○
第２有明小新築工事契約*2	○	○	○	×	○	○	○
行政不服審査会条例制定*3	○	○	○	○	○	○	○
職員の分限に関する条例改正*4	○	○	○	×	○	○	○
特別職（議員、区長、副区長、監査委員、教育長）の報酬値上げ*5	○	○	○	×	×	×	△*7
国民健康保険条例改正（保険料値上げ）*6	○	○	○	×	×	○	○

＊他無所属（おおやね、見山、川北、三次）

＊1　公的サービスを充実させ、低所得者対策が必要
＊2　小中合同校舎で建設費116億円
＊3　行政不服審査会を設置、公正性が向上
＊4　下記企画総務委員会記事参照
＊5　下記企画総務委員会記事参照
＊6　負担増大、構造的な問題が改善できない
＊7　おおやね議員、見山議員、川北議員は賛成、三次議員は反対

覆われているのに気が付きました。六価クロムが漏れ出てくる場所を塞いだのでしょうが、これも対症療法でしかありません。都からはいまだに何の説明もありません。

＊きっずクラブを優先してほしい

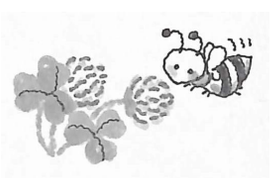
中村　江東区では学童クラブに１３７２人、放課後子ども教室に７６６人、きっずクラブに６０００人以上登録している。なかでもきっずクラブＡ登録はほとんど専用の部屋を持っておらず、子どもたちの活動場所が十分確保できていないのではないか。

区　人口増に伴う児童数の増加により、各学校で専用スペースを確保することが難しい。学校と調整しながら運営していきたい。

中村　きっずクラブの時間帯にかけっこ教室を導入している学校がある。その間きっずクラブの子どもたちは校庭や体育館が使えないという。民間のスポーツ教室よりも区の事業であるきっずクラブを優先すべきではないか。どのような状況か。

区　６校でかけっこ教室を実施している。事業者から提案があって、学校長の判断のもと無料で施設を貸し出している。保護者からも同様な意見があったので、調査して対応を判断したい。

〈中村補足〉新年度からかけっこ教室は行われていません。スポーツ教室を批判するわけではありませんが、学校施設の使い方やきっずクラブ事業の公平性に問題があると考え取り上げました。



江東区に開設された「みなみすなこども食堂」前で

＊サービス切り捨てで介護離職ゼロ？

中村　この４月から江東区では「総合事業」が始まった。これまで介護保険制度のサービスを利用していた要支援１、２の人は、今年度内に人員基準等を緩和した「総合事業」に移行する。これは「軽度者はずし」だという批判の声がある。

２月に国の社会保障審議会はさらに要介護１、２の利用者への生活援助サービスを削減する方向性を示した。これでは介護離職を増やすだけだ。江東区の認識は。

区　制度の頻繁な見直しは負担が増える。生活援助は高齢者の孤立化を防ぎ、施設利用増加を防ぐ。今回の見直しには慎重な検討が必要。

【企画総務委員会】

＊職員の分限に関する条例改正

職員の勤務実績がよくない場合、指導等を行ってもなお改善されない場合、必要があると認められるときに限り、降給することができる、という改正内容。職員組合との合意がなされたとのことなので、明確な基準に基づき、公平性・公正性、客観性を担保する運用を条件に賛成した。

＊特別職の報酬値上げ

アベノミクスの成果は最も必要としている人には届かず、若者や女性の多くが非正規職にしかつけない。また高齢者も低年金で苦しい生活を強いられ、貧困が拡大している。こうしたなか、政策を決定する側にいる議員や特別職の報酬を一般職員と同様に引き上げることには反対する。

自衛隊の「リアル」に触れた。

元陸自隊員・井筒高雄さんのお話から

レンジャー隊員時に送られた寄せ書きを掲げる井筒高雄さん

戦争させない江東アクション主催で行われた元陸自レンジャー隊員・井筒高雄さん講演会に参加した。戦争法制が施行され、自衛隊員の戦死が現実のものとなる今、井筒さんのお話から感じられた自衛隊のリアルが印象に残った。

戦場で逃げることは戦死すること、防衛省団体生命保険では、戦争、紛争死は除外されていること、自衛隊の担う「後方支援」は戦争時には最も「攻撃対象」になること、など、改めて戦争の現実を認識できた。

経済的徴兵制がいわれているが、自衛官定員の充足率が低下し、戦争法制が施行され、海外派兵が現実化した現在、貧困をバネに若年層への自衛官募集の圧力が高くなることは必至と考えられている。井筒さんの資料によると、自衛官募集をめぐる市町村などの防衛省への対応では、１７４２市区町村のうち１２２９の市区町村が積極的に「適齢者」の情報を提供しているという。

政治のケリは政治でつけよう、という言葉で講演を締めた井筒さん。講演の最後に、井筒さんはレンジャー隊員のとき

映画「夢の間の世の中」を観て

50年前に静岡県で起きた殺人事件の犯人にでっち上げられ、死刑囚として48年間も牢屋に閉じ込められた元プロボクサーの袴田巌さん。２０１４年3月に保釈されたが死刑囚のままだ。

釈放後の暮らしぶりがスクリーンに広がる。自由を奪うものから自分を守るためひたすら獄房内の寄せ書きを掲げてくれた。「日の丸」の赤はやっぱり血の色にしか見えない。

（花村健一　塩浜在住）

を歩き回った習慣を釈放後も続ける袴田さん。狭山事件の石川一雄さんら尋ね来る獄友との交流。自らを励ます獄中日記の一節にあわせ空にお月さまがかかる。ボクシング協会は袴田シートを用意して訪れを待ち、身体の記憶は半世紀を越えてファイティングポーズを構える。一心に支え続けたお姉さんの「（罪をなすりつけようとする側に対して）そうはいくかよ」という言葉はキッパリ力強い。

保釈直後の冷え切った袴田さんの面立ちがささやかな笑顔を「娑婆」で取り戻すまでの一年の歳月。映画館を出て思わず昼の空に月を探した。

（川見一仁　猿江在住）

袴田さんの姉・秀子さんの笑顔がまぶしい

中村まさ子の活動日誌（抄）

1月	4日	賀詞交換会
	7日	解放同盟江東支部旗開き
	9日	戦争させない江東アクション、大島地区合同新年会、定例会
	11日	成人式
	12日	フェミニスト議連パワーアップ講座
	14日	3大小新年会
	15日	区政勉強会
	17日	消防団始め式、6丁目団地新年会、東京土建新年会
	18日	江東アクション会議
	19日	総がかり行動
	20日	市民の声・江東会議
	21日	選挙会議
	22日	キルトクラブうさうさ、大中新年会、定例会
	24日	都民基金会議
	25日	子ども被災者支援推進法議連政府交渉、区政勉強会
	28日	解放共闘旗開き
	29日	きっずクラブ視察、下町ユニオン新年会
	30日	青少年センター説明会
2月	1日	土地開発公社評議会
	4日	沖縄報告集会
	5日	人権の集い
	6日	緑の党都本部総会
	8日	選挙会議
	9日	公園のクロムを考える会会議
	10日	清掃一組総支部定期大会
	11日	福島避難者との会議
	12日	定例会
	13日	緑の党GJ総会（～14日）
	15日	区政勉強会
	17日	きっずクラブ視察
	21日	止めよう！辺野古埋め立て
	24日	第1回区議会定例会（～3月30日）
	26日	キルトクラブうさうさ、定例会
	27日	憲法カフェ
	28日	朝日友好親善の集い
3月	3日	選挙会議
	5日	都民基金会議
	8日	江東アクション会議
	12日	生活クラブ総会、脱原発署名、江東アクション、定例会
	15日	区政勉強会
	17日	江東アクション会議
	18日	大中卒業式、卒業を祝う会
	19日	戦争法廃止大集会
	22日	みなみすなこども食堂見学
	24日	5大小卒業式
	25日	キルトクラブうさうさ、定例会
	26日	さようなら原発集会
	29日	講演会「チェルノブイリの祈り」

〈学習支援ボランティア求む！〉

毎週水曜日18時から、亀戸7丁目で「江東中学生勉強会」を開いています。そこで中学生への学習支援ボランティアを募集しています。詳しくはお問い合わせください。

●問い合わせ先●　090-2161-1963

中村まさ子